

図書館だより10月号

2022/10/13 小鹿野高校図書館

少しずつ、秋に近づいているこの頃です。

先月は小鹿野町の商店街で、竹あかりイベント「みんなの想火」が行われましたね。

夏休み中、竹あかり同好会の皆さんが準備をしていた姿が印象的でした。



当日は準備の段階で大雨でしたが、なんとか持ち直し、幻想的な明かりが町を照らしたと聞いています。お疲れさまでした。

(来年度は、私も見に行きたいと思います！ よろしくお願ひします。)

** 入口まわりのご紹介 **



←マンガの続きが2冊入りました！

- ①『ちはやふる』49巻
 - ②『セツ屋志のぶの宝石匣』17巻
- ドアを入ったところに置いているので、ぜひ読んでみてください。



こちらは廊下側です。 →
「アマビエだるまちゃん」がお出迎えしています！

皆さんも知っている通り、疫病退散の意味がありますね。

今後も感染対策に気を付けて、過ごしていきましょう。

図書委員 & 先生方からのオススメ本

今月より、図書委員生徒と教務部の先生方に、オススメ本紹介を書いていただくことになりました。



2-1 図書委員生徒より

『ディズニーファン』 講談社

『ディズニーファン』とは、ディズニーリゾートや、そのほかのディズニーテーマパーク、ディズニー映画などの情報を扱う雑誌です。毎月25日に発売されます。

自分の大好きなディズニーシリーズの情報もたくさん載っているので、毎月楽しみに読んでいます。ディズニー好きにはたまらない一冊になっています！

図書館にあります



IMAGE

理科 加藤寛隆先生より

『サピエンス全史』上下

ユヴァル・ノア・ハラリ 著/柴田裕之 訳

この本のテーマは人類史。読んですぐに役に立つ何かが見つかるような本ではありません。

内容をちゃんと理解するためには時間をかけてじっくりと読み、歴史や生物学の知識、経済学的なものの見方など多くのことを

IMAGE

学ばなければなりません。「人間とは何なのか」という問いにあらゆる分野の最新の学説を駆使して挑んだ本書は、*リベラルアーツの精神を体現した良書です。小鹿野高校の図書室には様々な本がありますが、このような「本格的な」本もあります。世界的なベストセラーに是非挑戦してみてください。

図書館にあります



*「リベラルアーツ」…一般教養のこと。元々は古代ローマにおいて、7科の教養科目を指していた。現在は主に大学の教養課程を指し、幅広い科目を自由に学び、知識をつけることで、実社会で生きる力を養う(やしなう)狙いがある。

IMAGE

『清水卯三郎 文明開化の多彩な先駆者』 今井博昭著
江戸後期、埼玉県羽生市に生まれた清水卯三郎(うさぶろう)。

語学を勉強し、薩英戦争での通訳、また慶応3年のパリ万国博覧会に商人として幕府とともに参加しました。

帰国後、東京に「瑞穂屋(みずほや)」という店を開き、欧米の輸入品、本・新聞の販売を行いました。特に歯科関係の本の出版に力を入れ、日本の歯科医学の発展に貢献しました。

彼の人生には、同じく埼玉出身の渋沢栄一、勝海舟を初めとした、多くの偉人も関わっています。あまり知られているとは言えませんが、こんな功績を残した人物もいるんですね! 埼玉の偉人について、もっと知ってみませんか?

2学期にない、新しい本の注文

も始めました!

次号でお伝えします!

入り次第、図書館に置きますので、ぜひ見に来てください。

リクエストもお待ちしています。

新しい本を紹介します☆ミ

本校と契約の書店さんより、
2冊おゆすりしていただきました。
※寄贈(きそう)図書ということです。

IMAGE

『コミュニティ放送局 ちゃんとやればうまくいく
ちちぶ3人娘の挑戦』 井出貴美著

今年で開局3年目を迎える「ちちぶエフエム」。本校の生徒さんも、番組に参加されていますね!

この本は、そんな地域に愛されるコミュニティ放送局を立ち上げた、3人の女性の奮闘記です。

経営の経験も、人と違う特別なところもない「地元の女性たち」が、どのようにして成功をつかんだのか?

平凡であっても、地道な努力を重ね、人とのつながりを大事にして、夢を叶えるヒントが詰まっています。本校にとっても身近な企業のため、ぜひ手に取って読んでみてください。



ミニ展示「沖縄の思い出」

入口近くの壁に展示中!

色々な角度から、沖縄の魅力を再発見してみてください!

